

2013 年 3 月 26 日（火）

「理解」→「定着」→「応用」の「学習の３段階理論」で学力を飛躍的に向上させよう

開倫塾

塾長 林 明夫

春期講習中に、効果の上がる学習方法を Q and A の形で少しずつお伝えします。

Q 1：学力を飛躍的に向上させるにはどうしたらよいですか。

A：（１）最も大切なことは、「自覚をもって学習する」ことです。

（２）「自覚」とは、自分の立場をはっきりと認識することです。「何のために学習するのか」をはっきりと認識することです。

（３）「進学してその学校で何をするのか」「進学した学校を卒業して何をするのか」「どのような仕事や社会的活動がしたいのか」「どのような人生を送りたいのか」などをよく考えながら学習することです。

Q 2：「自覚をもって学習する」だけでよいのですか。

A：（１）「学習時間を確保すること」と「学習方法を工夫すること」も必要です。

（２）ただし、「自覚をもって学習する」と、自分の今やらなければならないことがはっきりとわかりますので、学習時間をどう取ったらよいのかを自分の力で考えて工夫するようになります。

（３）最も参考にすべきは、二宮金次郎です。二宮金次郎はどうしても学習する時間が取れなかったため、山へたきぎを取りに行く仕事の行き帰りにたきぎを背中に背負って歩きながら学習をしたと伝えられています。今は、交通事故などにあう危険性がありますので、本を読みながら道を歩くことは勧められませんが、二宮金次郎の「学習時間を確保する」チャレンジ精神は学んで頂きたいと思います。このように、忙しい生活の中でどうしたら学習時間を確保することができるかは「自覚」の深さで決まってきます。

（４）「自覚をもって学習する」と、自分自身に一番合った「学習方法を工夫する」ようになります。

（５）開倫塾を創業して 33 年経ちますが、毎年入塾なさる塾生の皆様が最も困っていることのひとつが「学習の仕方がわからない」でした。そこで、「効果の上がる学習方法」の一つの例として、学習を「理解」→「定着」→「応用」の３つの段階に分け、それぞれの段階ごとの学習の方法をお示し、塾生の皆様の問題解決にお役立て頂きたいと私が心血を注いで考えたのが「学習の３段階理論」です。

（６）ただし、これを最後まで実行できるのは「学習方法を工夫したい」と希望する「自覚をもって学習」する皆様ですので、ぜひ「自覚をもって学習」するように心がけて頂きたいと希望いたします。

Q 3 : 学習を3つの段階に分けた最初の「理解」とは何ですか。

A : (1) 今、学習している内容が「うんなるほど」「これは、こういうことなのか」と「よくわかる」こと、「納得する」こと、「賦(ふ)に落ちる」ことが、「理解」だと私は考えます。

(2) 「理解」の段階で大切なことの1つ目は、学校や開倫塾で先生の授業を熱心に受けることです。

① 「欠席」や「遅刻」、「早退」、「居眠り」、「徘徊(はいかい)」、「携帯」、「ボーッとしていて」、「おしゃべり」などがあると、先生は授業をなさっていても「理解」はなかなか難しいので、できるだけ避けるべきです。特に、「おしゃべり」は自分だけでなく他の人の迷惑になり、先生にとっても授業妨害になるので、絶対にしないようにしましょう。

② 授業中はできるだけ前列の席に着席し、手を机の上に置き、姿勢を正し、先生目や口元をよく見て、一語一句聞き漏(も)らさない熱心さで先生のお話をお聞きしましょう。

③ 必要なことはノートにメモを取り続けましょう。

- ・ ノートにメモが取れるのは、社会人になって仕事をするときに必要な大切な能力です。
- ・ 仕事に教科書はありませんので、人から教わったことをメモし、それを身に付けることは仕事をする上で大切です。学校の授業中に大切なことをノートにメモする能力を身に付け、社会に出る準備をしましょう。
- ・ 授業中に取ったノートは、あとで学習しやすいように、授業中や授業終了後に番号をふったり大切なところは四方を線で囲ったりして「ノート整理」をしておきましょう。

④ その日の授業を受けて「よくわかったこと」や「できるようになったこと」には印をつけておきましょう。「～ができるようになる」ことを、英語で「Can Do(キャン・ドウ)」といいます。できるようになったら、自分なりの「Can Do」の色のついたマークをつけておきましょう。

(3) 「理解」の段階で大切なことの2つ目は、「教科書」や「問題集」、「ワークブック」、「資料」などの教材をすみからすみまでよく読み、何が書いてあるか考えることです。このような学習をしていてよくわからない「ことば」や「語句」があったら、「辞書」でその意味を調べることです。

① 「辞書」で調べたことは、「ノート」に書き写すこと。

② 「ノート」に書き写した「ことば」とその「意味」は、何回も「音読練習」や「書き取り練習」をして正確に言え、正確に書けるようにすること。

③ 学力を伸ばすうえで一番大切なことの1つは、「ことば」の「数」を毎日少しずつ増やすことです。1日に10個、「ことば」の「数」を増やせば、1年間で3650個、3年間で10000個以上の「ことば」を自分のものにすることができます。とりあえず、毎日10個以上、辞書を用いて「ことば」の「意味」を調べ、その「意味」を「ノート」にメモし、正確に言え、書けるようにしましょうね。

(4) 「理解」で大切なことの3つ目は、「よくわからないこと」をはっきりさせて授業に臨むために、すべての教材を徹底的に予習する」ことです。